

新型コロナウイルス対策に関する緊急要望書

枚方市長 伏見 隆 様

2020年3月25日

日本共産党枚方市会議員団

野口光男

広瀬ひとみ

つつみ幸子

松岡ちひろ

新型コロナウイルス感染症は日本を含め世界で大きな広がりを見せ、日本経済にも大きな打撃を与えています。日本共産党としても別紙の「緊急対策」を政府に提案し、近く第2次提案を提出の予定です。

本市では1月31日より新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ、保健所設置市、感染症病床を持つ公立病院を有する自治体として、ご奮闘をいただいていることに心より感謝を申し上げます。

市内でも6人目の感染者が生じ、引き続き、感染拡大を防ぎ、市民の命と暮らしを守るとともに、市民の不安に寄り添い、正しい情報の提供、的確な対応を迅速に進めることが求められています。同時に、リーマンショック級の不況となることが予測される状況であるとの危機意識を持ち、市内事業者の経営の継続、雇用者の暮らしの安定をはかる強力な支援を進めることも求められています。あらゆる手段を、緊急に講じていただきたく以下の点を要望致します。

記

(暮らし、営業の支援のために)

1. 感染による損失や売り上げや収入の低下などにより納税が困難となるに納税者に納税猶予など柔軟な対応を行うこと。利用可能な制度を周知すること。
2. 様々に講じられている各種施策を適切に紹介すること。担当者により、対応が異なることのないように徹底すること。(大阪北部地震の際も、担当者の対応により制度が使えなかった市民が生じた。現在はない制度も今後できる可能性があることから、コールバックも含めきめ細かな対応ができるよう相談従事者に徹底すること)
3. 国民健康保険料の据え置きがはかれるよう府に広域化方針の見直しを求めること、徴収猶予など保険料負担の軽減をはかること。市独自の減免も実施すること。
4. 大阪府の緊急融資等が使い勝手の良いものとなるよう事業者の声を聞き、府に要望すること。(例えば、東京都に比べ据え置き期間が短いなど)

5. 新型コロナウイルス問題による市内事業者への影響を調査し、必要な融資や助成などの支援策を講じること。今ある国や大阪府の融資などの支援策はまとめて丁寧に中小事業者に情報提供すること。
6. 感染者を受け入れる病院等について、スタッフの負担を軽減できるよう資器材やスタッフの確保など財政支援を講じること。
7. 受診控えによる医療機関の減収補填策を国に要望すること。
(子どもを守るために)
8. 学校の休校、いっせいで登校などの方針が突然に示されることで、学校現場の混乱がみられます。学校や教職員が必要な対応、準備を行えるよう、事前の情報提供、状況や要望の把握に努めるとともに、合理的判断基準、根拠を示すこと。
9. 新学期の対応について、文部科学省が示したガイドラインにそって具体的にどう対応するか明らかにすること。
10. 通常通りの開校を進める場合には万全の対策を講じること。消毒薬やプッシュ型のせっけん設置やマスク、非接触型体温計の確保、保健室に空気清浄器の設置など必要な備品を調達すること。また、教室等における換気の徹底をはかること。清掃、除菌のために、人の雇用など特別の手立てをとること。
11. 新入生を受け入れ時となる4月の留守家庭児童会室の過密化を防ぐため緊急の対応を講じること。(支援単位を20名に抑えるなど具体の対応が可能となるよう物的、人的支援を)
12. 4月以降の休校に備えて、給食の提供も実施する自主登校制度を創設すること。
13. 就学援助受給者の給食費について、3月分も含めて支給すること。あらためて就学援助の周知を行うこと。
14. 子どものストレスを軽減できるように学校図書館、校庭の開放を行うこと。
15. 休校に伴うファミリーサポート利用料を無料にすること。
16. 収入減少世帯に留守家庭児童会や給食費の減免制度等を創設すること。
(市民の安心のために)
17. 本館1階市民室の混雑解消、感染防止対策の徹底、強化をはかること。
18. 市の電話相談窓口を休日、夜間も含め充実すること。
19. マスクについては高齢者施設、病院等への配布を実施されたが、まだまだ不足状態が続いている。引き続き、対応をお願いしたい。加えて、高齢者、妊婦や障がい者、難病さらに糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方などの市民にもマスクや消毒剤など衛生用品の提供をすること。

以上